

令和3年第7回大野城市議会9月定例会一般質問通告

○本会議（3日目）一般質問

令和3年10月18日（月） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
関井 利夫	<p>1. 令和3年9月の大野城市長選挙及び市議会議員補欠選挙について</p> <p>(1) 市長選挙と市議会議員補欠選挙の投票方法について その選択の理由及び決定過程を伺う</p> <p>(2) 投票所入場券及び選挙公報について 告示日は8月29日（日曜日）であったが入場券及び選挙公報の発送日はいつであったか</p> <p>(3) コロナ禍、緊急事態宣言発出中での選挙、投票行動について 投票率、無効投票率等は分析、検証なされているか</p>
平田 不二香	<p>1. 児童の放課後の安心安全な環境作りについて</p> <p>(1) 留守家庭児童保育所、放課後総合学習ランドセルクラブ、一体運営による放課後こども事業ランドセルクラブについて</p> <p>(2) 大野城放課後こども事業ランドセルクラブについて</p> <p>2. 各種団体への補助金について</p> <p>(1) 福祉団体など各種団体への継続的な補助金はどのような場合に交付されるのか</p> <p>(2) 大野城市母子寡婦福祉会へ平成17年まで補助金が交付されていたが、交付をやめた経緯は</p> <p>(3) ひとり親やコロナ禍での生活困窮者の数は今後も増加すると予測され、今後も大野城市母子寡婦福祉会の役割は大きくなると思う。当会は、現在活動資金が不足して、運営や存続に問題を抱えている。市からの補助金を交付してもらいたいが、本市の見解を伺いたい</p>
平井 信太郎	<p>1. 防災士の養成と地域への関わりについて（平成30年9月）</p> <p>(1) 防災士の養成について</p> <p>(2) 防災士の地域への関わりについて</p> <p>2. 敬老の日関係のお祝い金事業及び祝賀行事について（令和2年12月）</p> <p>(1) 敬老お祝い金事業について</p>
森 和也	<p>1. 学校給食費の公会計化について</p> <p>(1) 大野城市の小学校の給食費、中学校の給食費（牛乳代）は、公会計化されているのか</p> <p>(2) 給食費はどのようにして集金しているか。口座引落とし、振込み、現金支払いなどの割合があれば、教えていただきたい。また、本市はコンビニエンスストアやクレジットカードで納付可能なのか</p> <p>(3) 私会計で学校において学校給食費を徴収・管理する場合には、ゆうちょ銀行等の特定の金融機関を指定し、振込や振替を実施することが多く、このため、入学の際に保護者に特定の銀行口座を開設してもらうなどの手間が発生していると文部科学省が示しているガイドラインにあるが、本市の状況はどうか</p>

	<p>(4) 給食費を引き落としできなかった場合、どのように回収しているか。また、給食費を、支払い能力があるにも関わらず支払わない保護者はいるのか。データがあれば、教えていただきたい</p> <p>(5) 滞納額は、年間どれくらいあるか。過去5年間のデータがあれば、教えてもらいたい</p> <p>(6) 食材の買い方は、例えば、良質で安心安全な地場産の食材を安定的に調達する、一括調達による食材調達費用の低減（安くまとめ買い）するなど、施策を講じているか</p> <p>(7) 大野城市の小学校の給食は、自校調理方式であるが、食物アレルギーには、どのように対応しているのか</p> <p>(8) 本市も、給食費の公会計化を進めるべきであると考えているが、いかがか</p> <p>(9) 中学校のランチ給食サービスについて</p>
<p>福澤 信光</p>	<p>1. 教育・保育現場の災害時の行動マニュアルはどうなっているのか</p> <p>(1) 現在、本市の中学校や小学校には、大規模災害が発生した際の行動マニュアルがあるのか</p> <p>(2) 中学校や小学校において、自然災害その他全ての災害に対しての行動マニュアルはどうなっているか</p> <p>(3) 自然災害その他の災害が発生した場合、中学校や小学校においては、各学校に配られている災害時行動マニュアルに基づき各学校長が判断し、休校を決定し、生徒・児童に連絡するのか</p> <p>(4) 全ての災害時の行動マニュアルに関して、中学校・小学校・幼稚園・保育園に現在あるマニュアルは、市で作成し配布しているものか</p> <p>(5) 本市でも中学校や小学校はもとより、幼稚園や保育園に対して、災害時の行動マニュアル、あるいは、ガイドラインを作成し、配布することはできないのか</p>
<p>渡邊 知之</p>	<p>1. 利用され愛される公園づくりについて</p> <p>(1) 本市における公園の役割はどのようなものか</p> <p>(2) 本市の一人当たりの公園や緑地等の面積、市域面積に占める公園や緑地等の面積割合はどれくらいか。またその割合は近隣市と比較してどうか</p> <p>(3) 利用頻度の低い公園の再編や新たな利活用についての現在の計画はどのようなになっているか</p> <p>(4) 利用頻度の低い公園の新たな利活用について、市民の方からドッグランの設置を求める声があるがいかがか</p> <p>(5) 大野城総合公園（まどかパーク）の今後の改修計画はどのようなになっているか</p> <p>(6) 大野城総合公園（まどかパーク）の野外活動センター（キャンプ場）のコロナ禍以前の利用状況はいかがか</p> <p>(7) 大野城総合公園（まどかパーク）の野外活動センター（キャンプ場）は昭和57年3月に出来ており施設の老朽化が非常に目立つ。市民の方から、改修して欲しいとの要望があるがいかがか</p>
<p>原田 真光</p>	<p>1. 戸別受信機について</p> <p>(1) 本市において、戸別受信機の導入に向けて計画が進んでいる。本市が購入する戸別受信機の機能、購入台数、利用対象者、利用者の負担の有無等についての計画と進捗状況は</p>

	<p>2. 公民館の避難所開設における対応と課題について</p> <p>(1) 本年8月の大雨で避難指示が発令され、対象となる地区の公民館に避難所が開設された。本市における公民館の避難所の運営体制はどうなっているのか</p> <p>(2) 区長をはじめ、区の役員等避難所の運営には多くの方が関わっているが、現時点では、それぞれの善意により無償で行われていると聞く</p>
<p>河村 康之</p>	<p>1. 学校での ICT の活用について</p> <p>(1) 小中学校でのタブレット端末の整備について</p> <p>(2) オンライン授業の実施について</p> <p>(3) ICT サポート支援員と教員のスキルについて</p>
<p>松田 美由紀</p>	<p>1. これからの地域公共交通活性化について</p> <p>(1) バスの運転手不足等により路線バス及びコミュニティバスの減便が続いており、高齢者など交通弱者等の移動手段が脅かされている現状について</p> <p>(2) 2020年11月に地域公共交通活性化再生法を改正する法律が施行されたが、地域公共交通活性化再生法の意義について市はどのように認識しているのか</p> <p>(3) 地域公共交通計画（旧地域公共交通網形成計画）や立地適正化計画の策定の必要性について市の考えは</p> <p>(4) コミュニティバスの広域連携及びコミュニティバスの路線拡充、相互乗入れに対する市の考えは</p> <p>(5) オンデマンド交通に対する市の考えは</p> <p>(6) 路線バスがない地域への乗用タクシーの活用は</p>

○本会議（4日目）一般質問

令和2年10月19日（火） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
松崎 百合子	<p>1. 発達障がい等の子どもたちを専門的に支援することばの教室（通級指導教室）の指導員の各校配置について</p> <p>(1) ことばの教室（通級指導教室）の現状について</p> <p>(2) ことばの教室（通級指導教室）の課題と計画について</p> <p>(3) 教育振興基本計画に、特別支援学級やことばの教室（通級指導教室）等、障がい児教育はどのように位置づけられているのか</p> <p>(4) 巡回型であった中学校の通級指導が、拠点型へ変わった経緯や理由について</p> <p>(5) 非設置校の児童で保護者による送迎ができず、通級指導を受けられない児童についてどう考えるか</p> <p>(6) 非設置校からの通級は、指導・学習時間に加え移動時間がかかるため、授業やプログラムに参加できない児童生徒もいると思うがどう考えるか</p> <p>(7) ことばの教室（通級指導教室）が在籍校にあることで、担任との連携や、他の子どもの理解が深まると思うがいかがか</p> <p>(8) ことばの教室（通級指導教室）の指導員が各校に配置される方式がベストと考えるが検討できないか</p> <p>2. 子どもに最善の中学校給食について、市長に伺う</p> <p>(1) 市長選挙の結果は中学校の完全給食を求める声が反映されていると考えるが、市長の受け止めについて</p> <p>(2) 本市中学生の保護者72%が共働きの時代にあって、男女共同参画・両立支援としても、ランチ給食サービスありきではなく、検討するべきではないか。小学生の保護者を含む関係者への調査が必要ではないか。子どもに最善の中学校給食検討委員会の設置が必要ではないか</p>
田中 健一	<p>1. 大野城市都市計画マスタープランの改定について</p> <p>(1) 大野城市都市計画マスタープランの改定作業について、その内容や進捗状況等は、どのようになっているのか</p> <p>(2) 大野城市総合計画や九州大学筑紫キャンパスマスタープランとの整合性や連携は、どのようになっているのか</p> <p>(3) 地震や豪雨災害等の自然災害から市民を守ることについては、どのように都市計画マスタープランに反映されるのか</p> <p>(4) 西鉄天神大牟田線高架事業に伴う駅周辺のまちづくりを、どのように考えているのか</p> <p>(5) 西鉄天神大牟田線高架事業に伴う下大利団地の整備と周辺の道路整備は、どのように考えているのか</p>
井福 大昌	<p>1. 高架工事完成後のコミュニティバスのルートはようになっていくか</p> <p>(1) 現在のコミュニティバスまどか号は18年前に、運行が開始され、以来、多くの市民の足となって参りました。</p> <p>その前年、平成14年の定例会の一般質問において、当時の白木原地区の先輩議員が、平成26年完成を目標としていた西鉄連続立体交差事業の駅周辺のバス停やバスルートについて質問されておりました</p>

	<p>(2) 当初、平成 26 年完成目標だった西鉄の高架化が、紆余曲折、艱難辛 苦を乗り越えて、いよいよ来年その悲願に届こうというところにきま した</p> <p>(3) 近隣市のコミュニティバスの運行の現状や課題はどうなっています か</p> <p>(4) 運行開始から 18 年が経ち、また高架工事完成間近という意味から公 共交通の新しいコンセプトが生まれていると思われます。 現在アイランドシティや宗像エリアで大活躍している「のるーと」 という AI 活用型オンデマンドバスがあります。これは「乗りたい時 に、呼べば来る、新しいバス」というコンセプトです。このオンデマ ンドバスの研究はなされていますか</p> <p>(5) 日本遺産広域型認定という観点から、同じく認定を受けた近隣市と 広域でのバス運行連携などのコンセプトも考えられると思いますが研 究はなされていますか</p> <p>2. 小学校の給食のパンについて</p> <p>(1) 現在、パンの納入業者数と学校の割り当てはどの様になっています か</p> <p>(2) 納入業者のパン工場の所在地はどこですか</p> <p>(3) 納入業者の選定はどの様な手順で行っていますか</p> <p>(4) 納入業者によってパンの品質に違いはありますか</p> <p>(5) 配送等のリスク管理や地元業者の育成の観点から、パンの納入業者 はできる限り市内の業者が良いと思いますが、市のお考えはいかがで すか</p>
大塚 みどり	<p>1. 防災・復興の取り組みについて</p> <p>(1) 女性の視点を生かした防災・復興について</p> <p>(2) 令和 3 年 5 月に施行された災害対策基本法の一部改正について</p>